

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限	
文学の世界Ⅰ(日本の名作) Literature I		1年・2年	前期	月曜日・1時限	
単位数	授業の形態		授業の性格		
2単位	講義	選択			
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目					
国語の表現力を高めたいと考えている人には「国語表現Ⅰ」「国語表現Ⅱ」の科目の受講が望まれる。					
同時に履修しておくことが望まれる科目					
さらに国語の知識を深めたいと考えている人には「コミュニケーションⅠ」(敬意表現と敬語)の科目の受講が望まれる。					
担当者に関する情報					
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス		
大室 精一	授業中に説明します	月・火・水・木の10:40～16:00(授業時間を除く)	授業中に指示します		
授業の概要					
①昔話の学習(あらすじをメモする→印象深いシーンをイラストで描く→昔話の特色を解説する。)					
②近現代文学の名作鑑賞と解説(漱石・鴎外・一葉など毎回2作品ずつ紹介する。)					
③古典文学の名作鑑賞と解説(枕草子・奥の細道・竹取物語など代表的な作品を適宜紹介して解説する。)					
④漢字練習・国語常識(漢字は読み・書き取り・難読語等を扱い、国語常識では旧国名・月の異名・ペンネーム等を扱う。)					
授業の到達目標					
①昔話の学習(昔話の理解が深まり、日本文学の特色を文章やイラストで表現することが出来るようになる。)					
②近現代文学(代表的な文学作品を分析し、その魅力をわかりやすく伝えられる力を身に付けることが出来るようになる。)					
③古典文学(代表的な文学作品を分析し、その魅力をわかりやすく伝えられる力を身に付けることが出来るようになる。)					
④漢字練習・国語常識(漢字は読み・書き取り・難読語等を扱い、国語常識では旧国名・月の異名・ペンネーム等を扱う。)					
授業の方法					
この授業の方法は、以下の3項目となる。					
①講義が中心になるが、一部に演習形式(作品の世界を文章やイラストで描く作業等)を含む。					
②毎時間プリントによる学習であり、表面は「昔話・近現代名作文学・古典文学」、裏面は「漢字練習」である。					
③プリントの最後に「本日の授業で考えたこと」を記入して学習内容のポイントを確認する。質問も同時に記入する。					
学習の成果					
この授業を履修すると、あなたは					
①昔話の特色を理解し、その魅力を文章やイラストにより表現する力を身に付けることができる。					
②近現代の代表的な文学作品の特色を理解し、その魅力をわかりやすく伝えられる力を身に付けることができる。					
③古典の代表的な文学作品の特色を理解し、その魅力をわかりやすく伝えられる力を身に付けることができる。					
④社会人として必要な常用漢字の力と、様々な国語常識を身に付けることができる。					
授業のスケジュールと内容					
第1回目	講義ガイダンス(勉強の心構え・講義計画・プリント・課題・成績評価等について)				
第2回目	昔話①「へっぴり嫁ご」 習・国語常識	夏目漱石「こころ」	森鴎外「舞姫」	古典「伊勢物語」	漢字練
第3回目	昔話②「あたまがいかげ」 習・国語常識	太宰治「人間失格」	川端康成「伊豆の踊子」	古典「源氏物語」	漢字練
第4回目	昔話③「かくれみのがさ」 習・国語常識	谷崎潤一郎「細雪」	芥川龍之介「鼻」	古典「平家物語」	漢字練
第5回目	昔話④「牛の嫁入り」 習・国語常識	伊藤左千夫「野菊の墓」	宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	古典「土佐日記」	漢字練
第6回目	昔話⑤「闇魔様の失敗」 習・国語常識	島崎藤村「夜明け前」	山本有三「路傍の石」	古典「枕草子」	漢字練

第7回目	昔話⑥「まんじゅう怖い」 習・国語常識	壺井栄「二十四の瞳」	樋口一葉「にごりえ」	古典「方丈記」	漢字練
第8回目	昔話⑦「運のいいにせ侍」 習・国語常識	尾崎紅葉「金色夜叉」	菊地寛「父帰る」	古典「徒然草」	漢字練
第9回目	昔話⑧「寿限無寿限無」 習・国語常識	志賀直哉「和解」	梶井基次郎「檸檬」	古典「奥の細道」	漢字練
第10回目	昔話⑨「粗忽の惣兵衛」 習・国語常識	二葉亭四迷「浮雲」	横光利一「蠅」	古典「好色一代男」	漢字練
*レポート「私の人生を変えた一冊の本」提出					
第11回目	昔話⑩「初天神」 習・国語常識	国木田独步「武蔵野」	徳富蘆花「不如帰」	古典「雨月物語」	漢字練
第12回目	昔話⑪「不思議な扇」 習・国語常識	泉鏡花「婦系図」	田山花袋「田舎教師」	古典「東海道中膝栗毛」	漢字練
第13回目	昔話⑫「茶栗柿」 習・国語常識	武者小路実篤「お目出たき人」	林芙美子「浮雲」	古典「南総里見八犬伝」	漢字練
第14回目	昔話⑬「魚はかみそり」 習・国語常識	小林多喜二「蟹工船」	中島敦「山月記」	古典「竹取物語」	漢字練
第15回目	全体のまとめ・定期試験・解説 本授業の「学習の成果」確認アンケート実施 課題「私の人生を変えた一冊の本」紹介				
成績評価の方法と基準					
評価の領域		割合	評価の基準		
授業参加態度		45%	毎時間プリントを配布し、授業後に回収して、授業への参加態度を記入状況により評価する。45点満点：毎時間のプリントを3点満点で評価(優→3点、良→2点、可→1点)×15=15～45点		
レポート		15%	「私の人生を変えた一冊の本」の課題の、表現力と自己分析の深さを記入状況により評価する。15点満点：課題の提出点が10点、レポートの完成度をみて1～5点を加える。		
調査報告書					
小テスト					
中間・学期末試験		40%	大テーマによる論述問題(2問)で10点、授業全体から短答式の設問(15問)で30点の定期試験。40点満点：論述問題は記入してあれば5点、完成度をみて1～5点を加える。短答式は1問2点となる。		
発表内容(態度含む)					
その他					
教科書と参考図書					
教科書：『5分でわかる図説 日本の名作』(本と読書の会編・青春出版社・1000円)					
参考書・参考図書：授業担当者より適宜指示するが、購入の必要はない。					
履修上の心得・ルール					
毎回の授業でプリントを配布し回収して添削・評価を行うので、欠席した場合には「オフィスアワー」を利用して補講を受ける。					